

「地域に関われ地域とともに歩む学校づくりの推進」

学校・家庭・地域 連携協力推進事業

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子供たちの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)を推進する。

地域学校協働本部

- ・学校支援活動
- ・地域課題解決学習
- ・地域人材育成等

平成30年度:16市町158本部

地域未来塾

学習が遅れがちな中学生等を対象とした原則無料の学習支援
平成30年度:7市町26か所

放課後子供教室

子供たちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりのため、小学校の余剰教室等を活用し、地域の人々の参画を得て、多様な体験・活動を市町村と連携して推進する。

平成30年度:31市町241教室

コミュニティ・スクール

保護者や地域住民が学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現とともに、地域に関われ、地域を支えられる学校づくりをめざす。

H30年度:幼(1校)小(20校)・中(8校)義(1校)・高(5校)

推進委員会の設置

地域学校協働推進員 (地域コーディネーター) 研修講座の実施

広報誌の作成

開かれた 学校づくり委員会 ～県立学校～

安全・安心で開かれた学校づくりを進めるため、保護者及び地域住民の声や期待を学校運営に反映させ、地域に根ざした信頼される学校づくりを目指す。

H30県立学校(154校)が設置。

学校を核とした県内 1000か所ミニ集会

県内全ての公立学校を会場に、学校職員と保護者や地域住民が学校・家庭・地域の様々な教育課題について、膝を交えて本音で語り合う取組。

H29年度実施率(千葉市除く)
:100%(1168校/1168校)
参加人数:72,290人

県立学校の開放

県民の多様な生涯学習のニーズに応え、学習機会の拡充を図るとともに、開かれた学校づくりに進めるため、学校施設や教育機能の開放を推進する。

開放講座

県民が生活に必要な知識技能または一般教養を修得するための学習機会を提供。

H30年度:18校

施設の開放

地域交流施設(2校)及び文化施設(5校)を地域の各種団体に開放する。

教室等の開放

普通教室及び特別教室を地域の各種団体等に開放する。

H30年度:20校